

5月8日に鶴瀬駅で号外を配布



広報みよし日本一！ 内閣総理大臣賞受賞

全国の自治体広報（広報紙・写真・映像・ホームページ・広報企画）を競う平成27年全国広報コンクールの審査結果が5月8日に発表され、広報みよしが「内閣総理大臣賞」を受賞し、日本一となりました。さらに12月号が広報紙部門で入選、AR（拡張現実）で手話を学べる動画が映像部門で2席に選ばれました（3年連続入選）。埼玉県の町村部、関東1都6県の町村部が内閣総理大臣賞を受賞するのは史上初。埼玉県では平成11年の蕨市以来16年ぶりの快挙となりました。

広報みよしは読んで面白い、読む意味・価値のあるものを考え、印刷以外のすべて（取材・紙面編集・写真撮影・デザイン・レイアウト・文章・画像加工・校正など）を職員が行い、業者委託をしないため、低コストで作られています。写真が動き、空間に写真が浮か出すAR（拡張現実）や動画も全て職員が行い費用は0円。さらに三芳町広報大使のモーニング娘。OGの吉澤ひとみさんを特集した3月号は異例の2000部増刷。広報みよしは全国から注目され、話題となっています。



広報紙部門（町村部）「入選」

平成26年12月号 子育て特集 講評

全体の半分を占める、子育ての特集の充実度は、担当者の意気込みのほどが強く感じられる。子育て支援に関するさまざまな取り組みが、母親・父親・地域・ボランティア・行政など様々な活動で支えられていることが分かる意欲的な特集。子育て問題はどの町村にもありうるが、我が町のこととして具体的に示された取り組みは、住民にとっては有益な情報であろう。ARによる動画情報も随所に提供するなど、広報ツールを駆使した特集になっている。また、最終見開きを秋に実施したファミリー撮影会の家族写真で飾り、計画的に積み重ねた広報であることも評価したい。

いたるところで「広報に載ってたね」と声をかけられました。九州出身のため、三芳町の知らないことが多かったのですが、広報みよしを見て、子育てのことや、町のイベントなどをたくさん知ることができました。今後も情報を幅広く伝えてもらい、三芳町の知名度アップのために頑張ってください！

12月号の表紙
知北さんご家族



写真部門「特選」内閣総理大臣賞

選評と内閣総理大臣賞の経緯

少女がツルについた大きなさつまいもを持ち上げる力強さに合わせて、爽やかな笑顔がイベントの楽しさを表現している。作物をテーマにした写真は、町民に季節感を伝えるとともに、あらためて地域の特産品を知らせることができる。満面の笑顔をとたえる少女、両手に掲げられた地元の名産品、それを育む大地。さまざまなコンテンツを、一枚の写真の中に、きちんと切り取った素晴らしい作品になっている。埼玉県三芳町は、この「広報写真 一枚写真」特選のほか、「広報紙町村部」でも入選、「映像」でも入選2席を受賞した。また、平成26年には「広報写真 一枚写真」で入選、「広報写真 組み写真」で入選3席を受賞している。このように「複数の部門で優秀な成績を修めたこと」「過去にも優秀な成績を修めていること」が高く評価され、内閣総理大臣賞の受賞となった。



私の写真が日本一になったと聞いて、びっくりしました。世界一のいも掘りまつり、とっても楽しかったです！長靴を履いて、たくさん歩いてスタンプラリーをしたから疲れたけど、小学校に出ていたお店で食べたおいもスティックの味が忘れられません。大きなさつまいもが採れて本当に嬉しかったです！また今年もこのイベントに参加したいと思います！

表紙の女の子はさいたま市から「世界一のいも掘りまつり」に参加してくれたこの子！！



映像部門「2席」

ARで学ぶ日本手話コーナー 講評

ARという新たな技術を、他の地域に先駆けて広報に活用している。広報紙にスマートフォンをかざすことで動画がスタートする。その動画が、「今月覚えてほしい日本手話」という企画である点も秀逸。紙媒体での図解などでは伝えきれないニュアンスも、動画なら、より分かりやすく伝えることができる。全体が軽快で明るく、楽しい映像であることも評価された。

この手話コーナーで皆さんとのつながりがたくさんできました。とある店で、見知らぬ人から「動画見てるよ！少しだけでも手話覚えたよ！これからも頑張ってるね！」と手話で語りかけられ、本当に感激しました！約7年前に引っ越してきた三芳町。本当に住んでよかったですし、ますます三芳町が好きになりました。これからも楽しい日本手話発信頑張ります！

AR日本手話出演中
高波美鈴さん



役場1階ロビーに内閣総理大臣賞受賞を記念して展示ブースを設置しています。また、6月5日に長野県長野市での表彰式があり、表彰状と銀杯を受け取ります。こちらも6月8日以降に展示予定です。ぜひご覧ください。

※平成26年11月号・12月号の在庫がございません。どうぞご了承ください。問い合わせ：秘書広報室 内線312